

私たちは、日々使っている言葉や行っている態度をもう一度改めなければいけません。そしてその改めることで自らを理解して「自分が何を言っているのか」「相手が何を言いたいのか・何を求めているのか」また、自分が「なぜ、今これをしているのか？」を理解しなくてはなりません。では、あなたがしようとしていることは理解できて、よく解った。では、次にそれを実行しようとした時になにか不測の事態が起こるとどうですか？焦りで失敗することはありませんか？あなたは焦るほうですか？みなさんは、焦って事を実行して大切なものを失ったことはありませんか？今、みなさんには「どうしようかな？」と、迷ったり悩んでいることはありますか？ゲーテの言葉の中に「人間は、努力するかぎり迷うものである」とあります。迷っている時は努力している時です。私たちは自分たちの生き方を通して神さまの栄光を表そうとしているわけですから努力しているのです。しかし、そこで自分の弱さが出てしまい失敗するのです。頑張っている分、それは裏目に出やすいです。何もしていない人は、人から評価もされなければ見られもしません。だから指摘されることもありません。しかし、私たちは得べき恵みを得ようと頑張っています。そこには戦いや葛藤があるし、当然悩みやそれに達成するまでに失敗があるわけです。だから失敗を恐れると言うことは、戦いを恐れて逃げている事になります。「人間は行きたいほうへ行くがよい。人間はしたいことをするがよい。しかし人間は、自然（＝神）が描いている道へ、必ずまた戻ってくるに違いない。」という言葉があります。その人に与えられた使命や道に戻るしかないのです。私たちは今まで、自分の道を歩んできました。そして神さまに出会いました。それでもまだ「自分！自分！」と言って生きるのか…感情的になったり、一時の欲に目が向いてしまったりその時良ければいいという思いで進んでしまったり…その時に大切なものを失ったりしてきたのです。色々やっても結局、自然（＝神）が描いている道へ必ずまた戻ってくるしかないのです。失敗しても後悔してはいけません。後悔している人はもっと後悔することになります。後悔するのではなくそれを土台にして（反面教師にして）歩むべきです。失敗に目を向けて恐れてはいけません。聖書はこう言っています。（ヨハネ14：27）みなさんが今、悩みがありますか？と言った時に心が騒いでいるのであればその悩みは私たちを滅ぼす悩みです。しかしもし、私たちに神の平安があるなら私たちは絶対に失敗しません。じゃ、なぜ失敗するのかというイエスキリストが自分の中心にいないからです。焦っているのです。正しい判断が出来ないのです。自分を見返すことが出来ずに失敗してしまうのです。焦らずに成功した人の話をたくさん知っていると思います。正しく冷静に判断した人のことを見ているはず。私たちは、大切なことを人に伝える時も、自分の手柄をあげるために伝えるものではありません。ただその人を神さまが与えた自然の道に戻る手助けをするのです。焦ってその人をどうこうしようとすると失敗します。なぜかという違う目的が生じているからです。みなさんはいかがですか？何かに焦っていませんか？プロセスをしっかりと積んでそれを成し遂げたから良い結果がついてくるのです。私たちが本来の目的を忘れて行動していると人の影響を受けすぎて道を見失います。大丈夫ですか？だから人を手本にして生きてはいけません。私たちがなぜ生きるのか？なぜ私たちは生活しているのか？「なぜなのか？」というものをしっかり持っておかなくてはなりません。焦って結果を求めるが故にこの様な失敗をするのです。私たちは人生を焦って焦がしていませんか？焦って心を騒がせてはいけません。（箴28：20～26）私たちは、物質や名声・人の評価や目線に目を向けていませんか？だから失敗するのです。なぜ罰を免れないのかという失敗するからです。目的を見失うからです。あなたは目的を見失っていませんか？人目が気になるのはなぜですか？それはあなたに対する名声が気になるからではありませんか？私たちが名声を得られるのは忠実なことをしたからです。「小さな事を尊ぶものはすでに大きな事を得た」とゲーテは言っています。聖書にも「小さいことに忠実な者は大きなことにも忠実である」と書かれています。私たちは既に大きなものを得ています。神さまの素晴らしい恵みと命懸けの愛を得ているのです。だから小さいことを尊ぶべきです。誰も見ていないような小さいことを焦らず積み重ねていきましょう。頑張っているのに隠していた悪いことが発覚すれば全て台無しです。『あせるな！！焦』～実を残すために心を騒がすな！！～です。そして、良い実を得るために①**言葉は焦りの源です。**（伝5：1～5）言葉に気をつけましょう。私たちの心の底から出た言葉でないと相手に届きません。普段神さまと一緒にいない人に「神さま信じると良いことあるよ」と言われても誰も信じません。私たちが話している言葉はどうでしょう？私たちが語った言葉には影響力があるでしょうか？私たちが誰かにアドバイスしたらその人が心動かされて真剣に取り組もうとしていますか？神さまは言葉をもって私たちを創造されました。適当にべらべら喋る狼少年ではなくて相手に心から伝えましょう。②**なぜを考える余裕をもちましょう。**自分を分析することが必要です。調子が悪い時こそ「なぜ？」を考えましょう。なぜなのかを考えて行動しましょう。私たちが起こす行動・発言一つでも「なぜ今」なのかを考えましょう。そうすると自分を分析することが出来るので、行動内容が変わります。③**答えを焦るな。**答えは要りません。私たちが答えを出す人ではありません。答えを得ることに焦ってはいけません。人生というのは答えがすぐに出るものではありません。失敗をする人は結果をすぐに欲しがります。そしてすぐ失敗します。この様な人は、得られた結果を人に見てもらいたい・評価されたいと思っている…自信のなさの表れです。答えは神さまの御手に委ねましょう。私たちが正しいことをすれば必ず答えは得られます。私たちは答えを見つけるために生きているわけではありません。私たちはすべきことがたくさんあって行動しているのです。それができたから答えがあるのです。結果が与えられるのです。いつも自分を省みてなぜと自身に問う…しかし答えは神の御手に委ねる…これが本当のクリスチャンの生き方です。あなたは今まで生きてきて「完成した！」と言ったことがありますか？だから最後まで諦めないでください。始めるのは簡単です。だけど最後まで上り詰めるのは稀です。私たちは一般論ではいけません。私たちはやるべきことを知っているのです、やっているのです。ですから「稀」な人間になりましょう。私たちは、らくだが針の穴を通るような道を選んでいるのです。もう既に稀な人間です。この道を通った人は必ず答えを見いだせます。私たちはヒストリーメーカーになるんです。私たちはその歴史書を完成させなければいけません。最後の日に「完成した！」といえる人生でありましょう。あなたが今悩んでいるならそれはあなたが今努力をしている証拠です。だからその努力を無駄にしないためにこの3ポイントを行いながら愚かなものにならない人生を歩んでいきましょう。（要約者：行司佳世）